

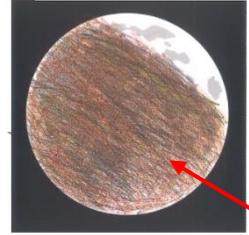
かいきげっしょく かんさつ シート

かんさつしたひ：2021ねん5がつ26にち 「みほん」

かんさつしたばしょ：

かんさつしたひとのなまえ：

かんさつしたじこく： じ ふん



ちきゅうのかけ

いろえんぴつや クレヨンで ちきゅうの かげの ところを めりましょう。



きがついた ことを かきましょう。

げっしょくの はじまりと おわりの じこく

げっしょくの はじまり	ごご 6じ 44ふん
かいきげっしょくの はじまり	8じ 9ふん
かいきげっしょくの ちゅうしん	8じ 19ふん
かいきげっしょくの おわり	8じ 28ふん
げっしょくの おわり	9じ 52ふん

さくせい:ギャラクシティ/とうきょうみらいだいがくてんもんサークル

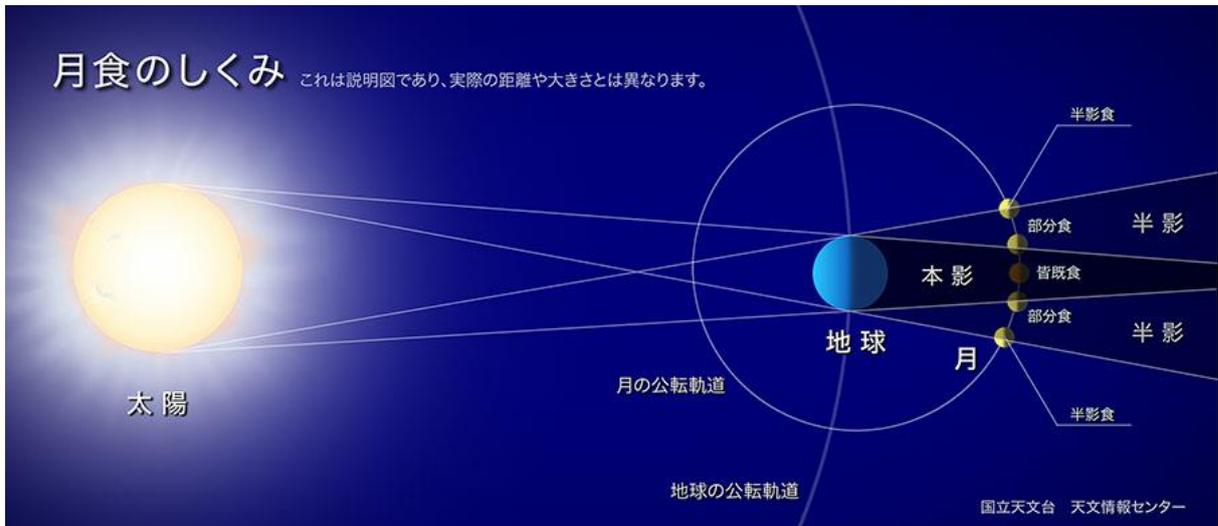
保護者の方へ

月食の概要

今回の皆既月食は、2018年7月以来3年ぶりのものです。食甚(食が一番深い時刻)が8時19分と、お子様にとっても見やすい時間帯に起こりますので、是非いっしょにご覧になってください。

月食の原理

月は太陽の光を反射して輝いていますが、下の図のように、太陽の光を地球が遮る影の部分に月が入ると月食となります。月がすっぽり影に入ってしまうのが皆既月食です。月食は満月の晩に起こりますが、満月の日に必ず起こるわけではありません。太陽-地球-月が一直線に並ぶのは数年に1度程度です。平均すると皆既月食は数年に1度程度の頻度で起こります。



観察の方法

観察シートは「月に映った地球のかげ」を記録する用紙です。色鉛筆などで欠けた様子を記録してください。欠けた部分の色も記録できるといいでしょう。皆既中は赤黒い(赤銅色とも表現されます)月の様子を肉眼でも見ることができます。皆既前、皆既の最中、皆既の後の3枚のスケッチを取れば変化を追うことができます。(3枚用のシートも別に用意されています。) 観察は、肉眼でもできますが、オペラグラスや双眼鏡を使うと見やすいでしょう。天体望遠鏡で観察できると表面の模様はどこがいつ欠けたか、詳細な記録を取ることができます。次回、東京で皆既月食が見られるのは、2022年11月8日です。

皆既月食の情報は下記からも得ることができます。



The Movie 月食



まるちたいけんドームだより



国立天文台の月食情報



ギャラクシティ
G A L A X C I T Y